

平成24年度

社会福祉法人慈照会事業報告

通所介護事業

短期入所生活介護事業

訪問介護事業

居宅介護支援事業

介護老人福祉施設事業

ケアハウス事業

平成24年度社会福祉法人慈照会事業報告

1. 総括

当該年度における我が国経済は、震災からの復興需要の高まりを背景に、景気悪化から回復しつつあるが、欧州通貨危機の影響や新興国の景気減速などにより、先行き不透明な状況が続いてきた。また、個人消費は雇用・所得環境が依然厳しいこともあり、いまだ回復には至っていない状況ではあるが、新政権による大胆な金融緩和をはじめとした緊急経済対策により、その期待感を先取りする形で為替は急速に円安へと進み、株価も幅広く上昇するなど、国内経済と社会に明るい兆しが見え始めた。

当法人では、引き続き職場環境、利用者及び入居者環境の向上のため、備品の購入、設備の入替等を実施した。パソコンを5台更新し施設内全パソコンの更新が完了、軽車両2台を導入し職員の利便性を向上、電話機の更新により連絡体制を改善、特養居室名を変更し居室ネームを更新、ふれあいホールエアコンを更新し夏場の暑さ対策の課題を解消、車椅子21台を購入、居室カーテン更新、デイショート和室改修により利用者及び入居者環境を向上させた。感染症については、8月に疥癬の発生が一部に見られたが拡大はせず、昨年集団発生したノロウイルスについては集団発生はなく、インフルエンザの発生もなかった。法人全体で介護報酬改定による4%の減収（介護職員処遇改善加算を除く）を想定した中、特養入院者が減少、短期入所の利用者数も伸び居室稼働率が向上、通所介護の利用者増、訪問、居宅支援事業所も期間を通じて安定し、1.1%の減収となった。職員体制については、高年齢者雇用、時間、曜日に係る柔軟な働き方を受け入れる体制を進めた結果、実人員の確保により、安定感は増し定着にも一定の成果があった。6月に高村与吉理事長が逝去され、高村潔理事長が新たに就任した。前理事長の意思を引き継ぎ、さらなる財務体質の強化とともに、地域に開かれた安心感を与える施設を目指す。

※重点目標の取り組み

(1) 人材確保と働きやすい職場づくりによる職員の定着

新規卒者3名の獲得、派遣職員3名を直接雇用へ移行した。職員食事会を3回、月間MVP2回実施、職場の効率化のための備品を導入した。

(2) 職員教育体制の充実とキャリアパスへの取り組み

施設内研修会を9回実施、事業所単位の研修会も充実してきた。若年無資格者のヘルパー2級取得支援を開始した。

(3) 地域交流と貢献

東近江介護サービス事業者協議会会長、県連合会副会長施設として地域の施設及び各種団体との連携強化を進めた。その他事業【地域交流と貢献】参照。

(4) 新給食体制による新たな食の提供と充実

4月よりナリコマエンタープライズから日清医療食品に給食委託業者を変更。当初のアンケート、一年後のアンケートともに好評価となった。現地調理と温かい食事の提供は確実に評価に結びついた。また、初めての試みであるまぐろ解体ショーや、デザートバイキング等食事にかかるイベントを実施し喜ばれた。

2. 事業別報告

【通所介護事業】（通常規模型定員30名 認知症対応型12名）

新規利用者は30名（昨年比81.0%）であったが、一日平均利用人数は27.4名（昨年比104.5%）と伸びた。

重点目標：お客様に喜んでいただける活動（アクティビティ、クラブ）の確立

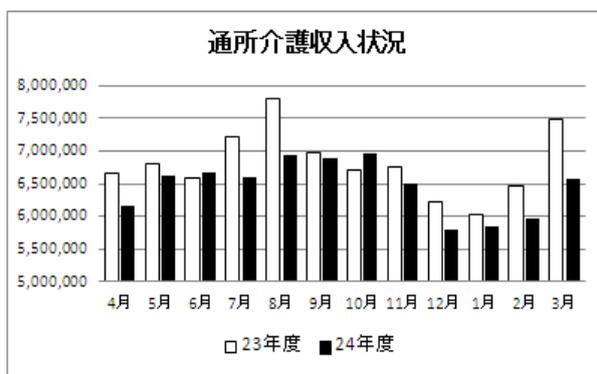
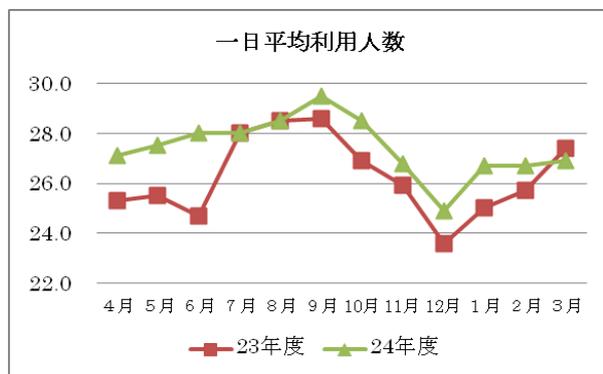
通所介護事業の営業時間短縮の中で、アクティビティ、クラブ担当の話し合いの時間を確保し計画・反省をきちんと行う。お客様全員が参加できる、選べる活動を目指す。引き続きボランティアの積極的な受入を行う。

結果

お客様に喜んでもらえるアクティビティとして、月1回（8月、12月除く）の外出を実施し喜ばれたが、アクティビティ、クラブ活動共に計画、反省が不十分であった。また、担当者任せになっている事が多く今後課題が残る。新たなボランティアの受け入れは進まなかった。

利用状況

	営業日数	利用実人員	新規利用者	一日平均利用人数			
				介護予防	認知症対応型	通常規模	合計
4月	25	87	1	1.8	2.6	22.6	27.0
5月	27	88	4	2.0	2.6	22.9	27.5
6月	26	89	2	2.2	3.0	22.9	28.1
7月	26	95	2	2.2	2.6	23.2	28.0
8月	27	93	5	2.3	2.9	23.3	28.5
9月	25	94	3	2.1	2.7	24.7	29.5
10月	27	94	2	2.0	3.0	23.5	28.5
11月	26	91	1	1.7	3.0	22.1	26.8
12月	25	90	4	1.7	3.0	20.2	24.9
1月	24	93	5	1.8	2.7	21.7	26.2
2月	24	89	1	1.5	2.7	22.5	26.7
3月	26	86	0	1.5	2.7	22.7	26.9
年間	308	1089	30	1.9	2.8	22.7	27.4



【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

新規利用者は83名（昨年比107.7%）、平均利用人数は17.7名（昨年比102.9%）と安定した高い稼働率となった。

重点目標：お客様に喜んでいただける活動（アクティビティ、クラブ）の確立

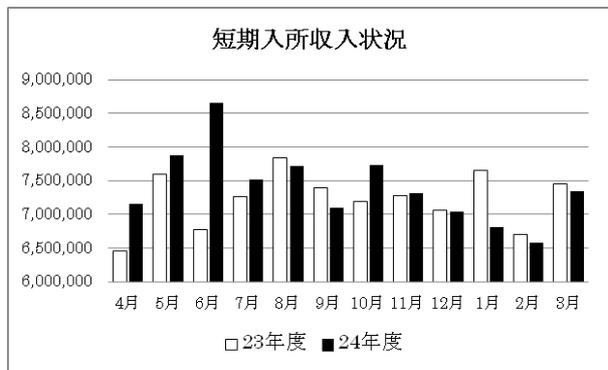
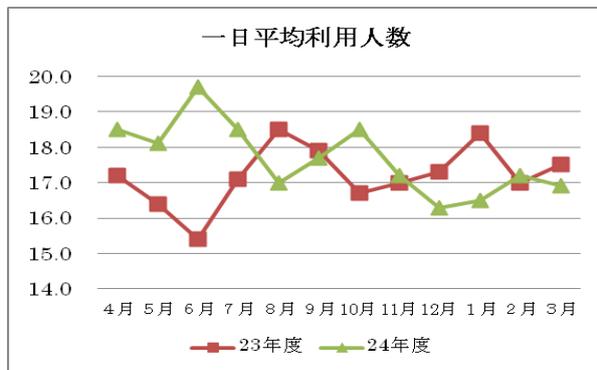
お客様全員が参加できる、選べる活動を目指す。引き続きボランティアの積極的な受入を行う。

結果

通所介護と同様

利用状況

月	新規利用者	利用実人員	一日平均利用人数	ベッド稼働率(%)
4月	12	87	18.5	115.8
5月	4	91	18.1	113.3
6月	9	86	19.7	122.9
7月	9	93	18.5	115.5
8月	5	81	17.0	106.5
9月	6	81	17.7	110.8
10月	3	83	18.5	115.7
11月	7	87	17.2	107.3
12月	1	85	16.3	101.8
1月	13	91	16.5	103.2
2月	6	85	17.2	107.4
3月	8	86	16.9	105.6
年間	83	1036	17.7	110.5



【訪問介護事業】

【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

新規利用者は83名（昨年比107.7%）、平均利用人数は17.7名（昨年比102.9%）と安定した高い稼働率となった。

重点目標：在宅生活を支えるプロのサービスの徹底

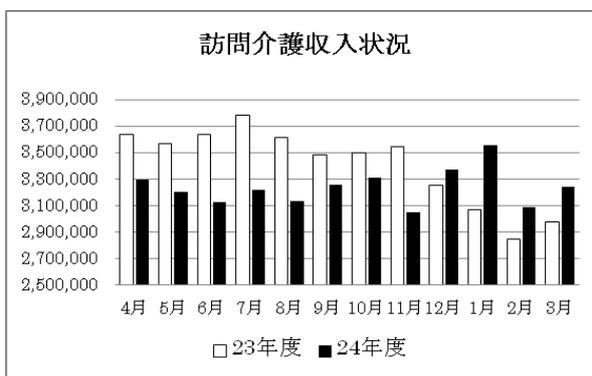
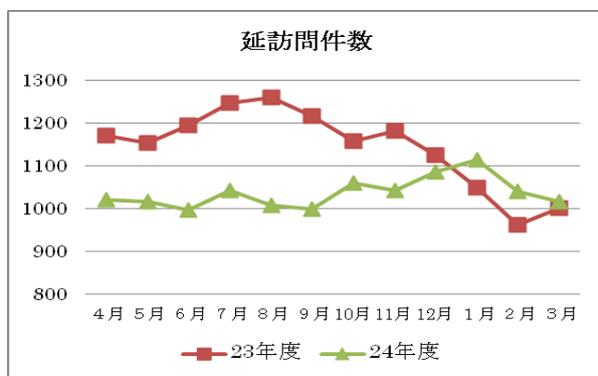
多方面の知識と情報、基本介護技術、生活援助者としての技能、価値観と倫理観をヘルパーに不可欠な要素とし高めながら総合的なサービスの向上に努める。介護保険制度改正の内容を理解し適切な対応を行う。サービス利用者のその人らしい生活を支援する。

結 果

自己学習とその都度の話し合いを徹底し、絶えずしっかりした情報を持つこと、連絡をしっかりすることを重視した。しかし、訪問前に利用者情報を伝えているが十分に伝わっていないケースや、話し方、対応のまずさなどで利用者、ご家族から指摘されることもあり、反省も残る。

利用状況

月	予防		介護		予防+介護	
	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数
4月	12	77	52	943	64	1020
5月	11	77	50	939	61	1016
6月	11	66	53	929	64	995
7月	12	76	53	966	65	1042
8月	13	79	57	928	70	1007
9月	13	72	46	925	59	997
10月	13	76	52	982	65	1058
11月	13	79	57	962	70	1041
12月	12	73	52	1011	64	1084
1月	12	73	52	1041	64	1114
2月	12	69	49	970	61	1039
3月	13	85	50	931	63	1016
年間	147	902	623	11527	770	12429



【居宅介護支援事業】

介護支援専門員1名の増員により、新規利用者が38件（昨年比108.5%）、年間プラン件数は1035件（昨年比120.9%）と伸びた。

重点目標：ケアマネジメントサイクルの充実

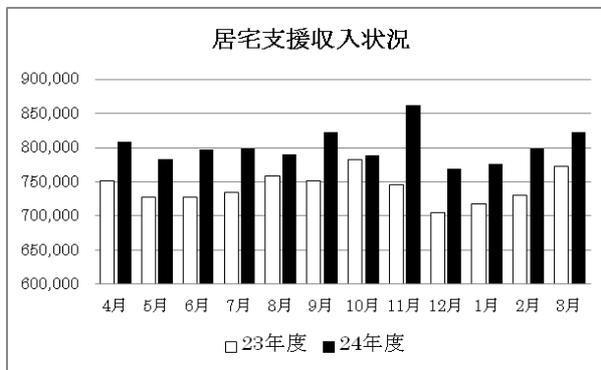
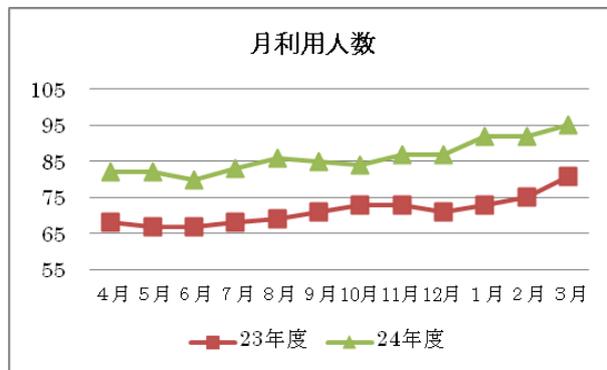
改めて基本に戻り、ケアマネジメントサイクルのポイントを確認し、深めたい。具体的には、基本情報の収集、アセスメント内容の統一、診断書等医療情報の収集と医療連携方法の確認、サービス計画作成方法の深化、モニタリング方法の確認、訪問方法の確認等を各月ごとに行う。

結 果

ケアマネジメントサイクルの基本について、一年を通じて確認することができた。基本情報入力シートの更新（エクセルシートで介護・予防統一様式を作成）、毎月の部署内会議での各ケアマネジメントサイクルの確認、「月間ケアマネージャー」と業務に関する書籍の読み込みによる資質向上を図ることができた。反面、書類整備等が進まず、特定事業所加算が取れなかったことは次年度の課題。

利用状況

月	新規利用	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	5	4	10	24	19	12	8	5	82
5月	3	5	9	24	18	12	9	5	82
6月	1	4	10	23	18	12	8	5	80
7月	1	5	11	23	17	13	9	5	83
8月	4	5	13	26	16	11	9	6	86
9月	3	5	14	26	12	12	10	6	85
10月	1	4	13	25	13	13	9	7	84
11月	4	5	14	24	16	11	10	7	87
12月	2	6	15	24	15	11	10	6	87
1月	6	8	19	25	15	11	8	6	92
2月	5	8	16	29	16	12	6	5	92
3月	3	8	14	32	17	14	5	5	95
年間	38	67	158	305	192	144	101	68	1035



【介護老人福祉施設事業】（定員：54名）

一日平均在居人数は50.6名（昨年比105.4%）となった。給食業者変更を含む食事の取り組みもあり、入居者定期健康診断結果が改善し、入院者数、長期入院も減少した。

重点目標：食事の意味、楽しさ、大切さを見直し、心身ともに満足できる環境を提供する
健康維持の為の栄養管理の見直し、季節感あふれる楽しめる食事の提供、誤嚥性肺炎防止に向けた取り組み（食事介助の見直し、口腔ケア）により、健康維持、入院者の減少につなげる。

結果

給食委託業者の変更を機に、管理栄養士による入居者個々の体重増減や食形態のデータ見直し、入居者担当中心の定期的なカンファレンスの定着により、個々に目を向けられるようになった。栄養補助食品の活用も進んだ。夕食前の口腔体操も定着し、食前の唾液腺マッサージ等も実施した。肺炎や呼吸器感染による入院者が減少し、定期健康診断の結果も改善した。

平成25年3月31日現在

入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	1	1	1	2	1	0	0	0	2	0	0	0	8
退居	2	2	2	0	1	0	0	0	2	0	0	1	10
在籍者数	54.7	53.5	52.3	53.4	53.8	54.0	54.0	54.0	53.6	54.0	54.0	54.0	53.8
在居人数	48.2	48.6	50.5	51.8	51.9	53.1	52.1	50.4	49.0	51.0	51.3	49.1	50.6

入居者在居期間

	男性	女性	平均
平均在居期間	29.2ヶ月	46.4ヶ月	44.7ヶ月

在居期間	男性	女性	実数	構成比(%)
1年未満	1	5	6	11.1
1年以上2年未満	1	17	18	33.3
2年以上4年未満	2	14	16	29.6
4年以上6年未満	1	4	5	9.3
6年以上8年未満	0	3	3	5.5
8年以上10年未満	0	1	1	1.9
10年以上	0	5	5	9.3
合計	5	49	54	100.0

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
70～74歳	0	2	2	3.7
75～79歳	1	6	7	13.0
80～84歳	1	7	8	14.8
85～89歳	1	13	14	25.9
90～94歳	1	14	15	27.8
95～99歳	1	7	8	14.8
100歳～	0	0	0	0
計	5	49	54	100.0

	男性	女性	全体
最高年齢	95	99	99
最低年齢	77	73	73
平均年齢	86.4	87.4	87.3

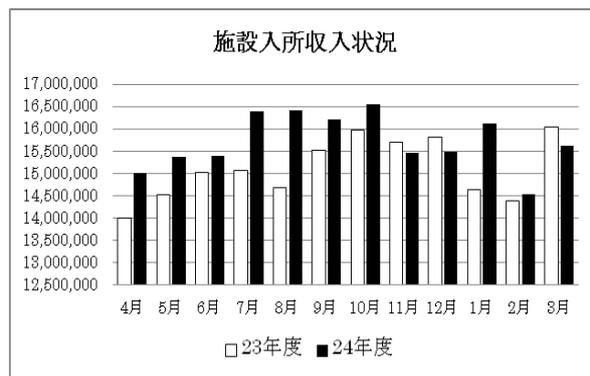
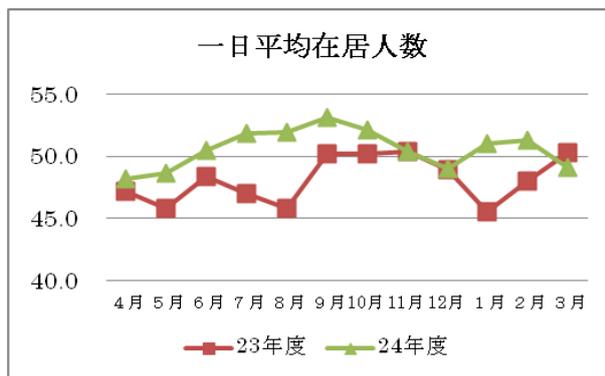
要介護度別入居者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数	3	11	15	14	11	54
構成比 (%)	5.5	20.4	27.8	25.9	20.4	100.0

平均要介護度 3.35

待機者数

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	15	30	43	51	29	168
構成比 (%)	8.9	17.9	25.6	30.3	17.3	100.0



【ケアハウス事業】（定員：15名）

夫婦部屋のニーズが低いため、県と協議し一部屋を一人利用へ転換。待機者がなく、空き室のある状態が続いているのは課題である。

重点目標：心身機能維持と生活の充実

入居者が重度化する中で、活力ある生活を過ごせるように。下肢筋力の低下予防（転倒予防指導）、趣味活動や行事を充実、入居者ニーズへの迅速な対応に努める。

結果

重度化した入居者への対応もあり、趣味活動や外出行事が思うように実施出来なかった。入院によるレベル低下は避けられないとしても、身体機能低下や認知症について、入居者への啓発や予防活動が不足していた。下半期は、趣味活動等を見直し、活動の幅を広げ、作品作りや料理クラブの定着を図った。特に女性入居者においては、何かする事があれば充実感がある等の意見も聞かれ継続出来るように努めたい。しかし、男性入居者においては、趣味活動等への参加が難しく、各種予防をいかに進めていくかが今後の課題である。

平成25年3月31日現在

入退居状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
退居	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4
入居者数	14	12	12	12	12	12	13	12	12	13	13	13	12.5

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
65～69歳	0	0	0	0
70～74歳	0	1	1	7.7
75～79歳	0	1	1	7.7
80～84歳	1	2	3	23.1
85～89歳	1	1	2	15.4
90～94歳	2	2	4	30.7
95～99歳	1	1	2	15.4
100歳～	0	0	0	0
合計	5	8	13	100.0

最高年齢 男性 96歳 女性 96歳

最低年齢 男性 82歳 女性 70歳

平均年齢 男性 90.0歳 女性 84.6歳 全体平均 86.7歳

入居者要介護度

介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	4	0	3	4	1	1	0	0	13
構成比 (%)	30.7	0	23.2	30.7	7.7	7.7	0	0	100

3. その他事業

【配食サービス】

年間営業日数 245 日、食数 386 食（昨年比 68.6%）、一日平均食数 1.6 食であった。

【委員会活動等】

（研修教育体制チーム） 会議開催数 9 回

業務の効率化に係る職員アンケートを実施し改善を進めた。施設内研修会を 9 回、各事業所単位の研修も 3 回実施された。新人育成について議論を重ねた。

（事故・苦情防止委員会） 委員会開催数 4 回

職員アンケートを実施し、活動に反映させた。リスクマネジメント研修会を 2 回実施。11 月に初めての試みとして事故防止強化月間を実施。活動を活性化できた委員会となった。

（環境整備委員会） 委員会開催数 3 回

除草作業、窓拭き、エアコンフィルターの清掃について計画、実施。夏祭り打ち上げ、忘年会を企画実施。ポスターの掲示等感染症の啓発に取り組む。

【衛生委員会等】

月 1 回テーマを設けて衛生委員会を実施。3 月に産業医健康相談会を実施。

4 月	福利厚生について	10 月	感染症対策について
5 月	年間計画・テーマについて	11 月	施設内環境について
6 月	食中毒対策について	12 月	定期健康診断について
7 月	熱中症対策について	1 月	メンタルヘルスについて
8 月	交通安全運動について	2 月	過重労働対策
9 月	腰痛対策について	3 月	睡眠対策

【月間 MVP】

月間 MVP を 2 回実施し、職場の活性化に努めた。計 6 名を表彰した。

第 1 回テーマ「清潔・さわやかやねえ賞」期間：7 月～8 月

第 2 回テーマ「いつも前向きで賞」期間：1 月～2 月

【職員研修】

施設内研修会を実施し、施設外研修及び会議に年間延187名を派遣した。

施設内研修会

実施日	テーマ	講師	参加者数
4月2～5日	新人職員入社時研修	法人職員	1名
5月27日	普通救命講習	東近江行政組合八日市消防署救急係	22名
6月15日	おむつ基礎編（特養）	リブドゥコーポレーション	14名
6月27日	介護保険制度	滋賀県介護福祉士会 増田恵子氏	33名
7月23日	口腔ケア研修会（特養）	ヒコネ矯正歯科医師	11名
7月30日	介護の気づき	滋賀県介護福祉士会 村田美穂子氏	26名
8月1～7日	食中毒予防ビデオ研修		60名
8月29日	リスクマネジメント研修Ⅰ	滋賀県介護福祉士会 砂田貴彦氏	26名
9月4日	摂食・嚥下障害と食事介助 （特養、デイショート）	株式会社明治 菅原佐知氏	25名
9月27日	人権学習会	森 啓祐氏	26名
10月22日	接遇・コミュニケーション	滋賀県介護福祉士会 成川 洋子氏	26名
11月26日	尊厳と身体拘束廃止	滋賀県介護福祉士会 村田美穂子氏	25名
12月20日	感染症予防について	滋賀保健研究センター 安代 晋吾氏	31名
2月27日	介護の記録について	滋賀県介護福祉士会 成川 洋子氏	31名
3月11日	リスクマネジメント研修Ⅱ	滋賀県介護福祉士会 砂田貴彦氏	24名

【地域交流・貢献】

地域交流、地域貢献は社会福祉法人の最重要テーマであり、様々な取り組みを実施した。今後も積極的に進めたい。

日付	内容	参加者数
6月4日	建部幼稚園交流会	45名
6月20日	カルナハウス介護教室（建部老人会）	30名
7月6日	建部民協議	12名
8月5日	カルナ納涼夏祭り	350名
9月16日	カルナ敬老会	209名
9月29日	建部幼稚園・すみれ保育園運動会	8名
9月30日	第6回建部あったかネット訓練	7名
12月4日	建部幼稚園交流会	60名

【消防・防災】

総合訓練2回、夜間想定避難訓練2回実施したが、時期に偏りがあったのは課題である。

【ボランティア、実習生の受け入れ】

多くの団体、個人のボランティアの皆様にご支援とご協力を頂いた。また、多くの実習生を受け入れた。

実習・施設見学

<学校関係>

- ◇滋賀学園高校 ヘルパー2級同行訪問実習 15名、ヘルパー2級実習 2名
- ◇びわこ学院短大 介護福祉士養成コース 施設現場実習 6名
- ◇長浜高等養護学校 2名
- ◇聖徳中学校職場体験実習 3名

<その他機関>

- ◇JA 介護員養成研修 4名

ボランティア

<アトラクション>

- ◇ すみれ会（大正琴） ◇ 愛東グランベル（ハンドベル演奏） ◇ 二胡っ娘（二胡演奏）
- ◇ レイカ28 銭太鼓（日本舞踊・銭太鼓） ◇ 七の花会（文化琴演奏・唱歌歌謡）
- ◇ さつき会（日本舞踊・銭太鼓・手品） ◇ 麦わら帽子（コーラス）
- ◇ フェイシャルセラピスト協会（リハビリメイク） ◇ 日野ダイヤモンドクラブ（歌謡）
- ◇ さわやかクラブ（歌謡） ◇ とおりゃんせ（童謡） ◇ 藤柳流 さくら会（日本舞踊）

<個人>

- ◇ 大江昌巳様（ハーモニカ演奏） ◇ 江頭 翼様（歌謡） ◇ 松田俊二様（ホルン演奏）
- ◇ JUNBOKU（音楽ライブ）

<団体>

- ◇ ひまわり会（喫茶・夏祭り） ◇ 杉の子会（夏祭り） ◇ アルティ（夏祭り）
- ◇ ワークホームズ（夏祭り） ◇ 湖東信用金庫（夏祭り） ◇ 滋賀銀行（夏祭り）
- ◇ 建部自警団第4分団（夏祭り） ◇ 建部民生児童委員（除草作業・夏祭り）
- ◇ 建部日本赤十字奉仕団（除草作業・窓拭き）

4. 慈照会年間行事

4月	2日 職員会議 26日 第1回経営会議 26日 第1回食事会 (A)	10月	15日入居者健康診断 18日職員健康診断 18日第7回経営会議 21日第2回食事会 (A) 26日インフルエンザ予防接種
5月	17日 消防設備機器点検 21日 第1回食事会 (B) 24日 総合避難訓練① 24日 第2回経営会議 29日 評議員会、理事会	11月	1日滋老協研究大会参加 5～26日文化月間 (展示) 7日消防設備機器点検 (2回目) 15日第8回経営会議 16日理事・評議員会
6月	21日 第3回経営会議 21日 第1回食事会 (C) 30日 建部民協中庭除草作業	12月	17日法人忘年会 20日第9回経営会議
7月	12日 滋賀県指導監査 18日 評議員除草・剪定作業 19～20日 近畿老人福祉施設 奈良大会参加 26日 第4回経営会議 28日 建部日赤除草奉仕作業 31日 臨時評議員会・理事会	1月	1日年賀式 17日第10回経営会議
8月	5日 カルナ納涼夏祭り 23日 第5回経営会議	2月	21日第11回経営会議 26日第2回夜間想定避難訓練
9月	10日 臨時理事会 16日 カルナ敬老会 20日 第6回経営会議 25日 夜間想定避難訓練①	3月	1日第2回食事会 (B) 13日夜勤者健康診断 21日第12回経営会議 25日理事会、評議員会 28日第2回食事会 (C) 28日第2回総合避難訓練

※施設内会議

経営会議 (月1回) スタッフ会議 (週1回) 衛生委員会 (月1回)

デイショート会議 (月1回) ヘルパー会議 (月1回) 居宅介護支援事業所会議 (月1回)

特養会議 (月1回) ケアハウス会議 (月1回) 事務会議 (月1回) 給食会議 (月1回)